



2024.11.27 号外

# 立憲民主

RIKKEN MINSHU

2024年11月号 立憲民主党大分県第3区総支部版

立憲民主党 大分県第3区総支部

〒874-0838

大分県別府市荘園3組-1

Tel.0977-26-5858

Fax.0977-26-2888

立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

三宅坂ビル7F

Tel.03-3595-9988

Fax.03-3595-9088



立憲民主党大分県第3区総支部長

## 小林かやこ

第50回衆議院議員選挙を終えて…。

6万票超のご支援に感謝。

これからも頑張ります！

去る2024年10月27日に行われました第50回衆議院議員選挙で、大分3区から立候補しましたが、残念ながら比例復活も含めて当選することができませんでした。多くの皆様からの多大なるご支援をいただきながら、皆様のご期待に応える結果を出すことができず、大変申し訳なく思っております。

立憲民主党大分県連から出馬要請を受け、立憲民主党の公認決定と連合大分の推薦決定をいただいたのが今年の6月でした。それからわずか4ヶ月ほどの短期間の闘いでしたが、現職の外務大臣を相手に6万票を超える得票を得ることができました。

選挙を通じて、「平和で格差のない社会、誰もが安心して暮らせる安心社会の実現を」「国民目線・生活者目線・地域目線で、女性の声で政治を変えたい」「今こそまっとうな政治へ」と、訴えてまいりました。当選こそ叶わなかったものの、この訴え・主張には多くの方々共感・賛同してくださいました。

この結果を次に繋げるためにも、今後また新たな気持ちで活動を続けてまいります。今後とも、変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

小林かやこ

### 「小林かやこと語る会」開催募集中！

- ▶ 少人数からでも構いません、皆さんのお仲間やお友達と一緒に、小林かやこと気軽におしゃべりしませんか？いつでも開催受け付けております。
- ▶ また、小林かやこ後援会主催で、各テーマ別の勉強会や講演会、意見交換会なども随時企画・開催していきます。ぜひお気軽にご参加ください。

小林かやこの日々の活動は、Facebook、Xでも発信しています。ぜひご覧下さい！



# 小林かやは、こんな人

1968（昭和43年）父の赴任地アフリカ・エチオピア生まれ。幼少期をホンコン（英国領下）で過ごし、10歳で帰国。現在、別府市在住。

## 学歴

日本女子大学 文学部英文学科 卒業  
早稲田大学 第二文学部 卒業  
熊本大学大学院 修士課程 修了（公共政策学）

## 職歴

1990年 英国系銀行東京支店ディーリングルーム勤務  
1997年 大分県湯布院町に移住  
1999年 都市計画コンサルタント会社勤務  
2004年 湯布院町議会議員選挙 初当選  
2005年 市町村合併に伴い、由布市の市議会議員選挙に当選  
以後3期（12年）市議会議員を務める  
2017年 由布市長選に出馬するも落選  
2018年 静岡県小山町で任期付特別行政職員として勤務  
2019年 東京・永田町で公共政策コンサルタント会社に勤務

## 受賞

第1回ローカルマニフェスト大賞 審査員特別賞  
日経 WOMEN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2008」

## 家族・趣味

家族：愛猫のアベバ&チー太（ともに保護猫）  
趣味：文楽・落語・歌舞伎（学生時代は歌舞伎研究会所属）



▲朝の辻立ちあいさつ運動



▲辻元きよみさんと一緒に



▲横光克彦さんご挨拶



▲3区選挙区内を訴えて走り回りました



▲選挙戦ファイナル集会@別府

大分3区の得票数	
岩屋 毅	87,301 (55.2%)
小林 華弥子	60,207 (38.1%)
大塚 光義	10,550 (6.7%)

無償化の教育  
01  
親の経済力や家庭環境に関係なく誰もが学べる機会を得られ、イノベーションを起こせる人材育成を

## VISION CARD

# FACT. 所得の低い世帯ほど、大学進学率が低い。

### 世帯収入別、高校卒業後の大学進学希望率

462万円未満	1,062万円以上
59.9%	92.8%

\*文科省・国立教育政策研究所調査(令和3年度)より

### さらに… 教育費は家計を圧迫

3歳で幼稚園に入園してから大学を卒業するまでの学習費総額(試算)

幼稚園～大学を全て公立で進学した場合	1,213万円
幼稚園・高校・大学を私立で進学した場合	1,691万円

\*幼稚園から高校までは、文部科学省による「子どもの学習費調査」における学習費総額(学校教育費、学校給食および学校外活動費の合計)の試算額。大学は、日本政策金融公庫による入在学費用についての調査結果を基に制作

## 立憲VISION. 何よりも教育！チルドレン・ファーストで経済的支援の拡充と予算の確保

- 国公立大学の授業料を無償化
- 教職員定数の充実を中心とした教職員の処遇改善
- 子ども・子育て関連予算の積極的な積み上げ
- 公立小中学校の給食を無償化

日本が継続して成長していくためには、若者がのびのびと学びを得られるような環境づくりが何よりも大切。国公立大学の授業料を無償化し、私立大学生や専門学校生に対しても同額程度の負担軽減を実施します。そして子ども・子育て関連予算については積極的な積み上げを行い、結果として対GDP比3%台（現状の倍増）を達成し、社会全体で子どもの育ちを支えられる仕組みを作ります。

さらに、教職員定数の充実や、スタッフ職の増員、非常勤教職員の環境改善を推進。教員が子どもたちとしっかり向き合う時間を確保するとともに、教員不足に対応します。また、学びなおしのための公的職業訓練の拡充、休暇制度の整備で、学びたい人を支援します。

